

セミナー企画書

山田真由子/山田真由子社会保険労務士事務所 代表

(電話) 090-8446-5514

(メール)officeyamada@nifty.com

【タイトル】

セクハラを防ぐ職場づくりの実務

～働きやすい環境を守るための判断軸とコミュニケーション～

【参加者対象】

- 管理職・監督職
- チームリーダー・OJT 担当者
- 人事・総務部門
- 職場環境改善に取り組む組織
- ハラスメントに不安を抱える従業員

【参加者が得られるメリット】

- ▶ セクハラの基本と、現場で判断が難しい“グレーゾーン”を整理できます。
- ▶ 自分の言動が相手にどう伝わるかを理解し、誤解やトラブルを防げます。
- ▶ 相談を受けた際の正しい対応ステップ（否定しない・記録・窓口案内）が明確になります。
- ▶ セカンドハラスメントを防ぎながら、組織としての適切な対応が分かります。
- ▶ 事例検討により、職場で再現できる具体的な対応スキルが身につきます。

【コンセプト・概要】

セクハラは、「意図があるかどうか」ではなく、相手の受け取り方と職場環境への影響によって成立します。SNS の普及、多様な働き方、価値観の違いなどにより、職場では“気づかないうちに加害側・被害側になるケース”が増えています。

本セミナーでは、法律の基本、現場で起こりやすいグレーな言動、相談対応、再発防止までを実務に即して整理し、「本人も組織も守る、建設的なコミュニケーション」を習得します。

目的は、誰もが安心して働ける“快適な職場環境”をつくることです。

【内容】

（１）セクハラが企業課題として増えている理由

- ▶ 法改正と企業責任の強化ポイント
- ▶ 最近の発生状況から見るリスク傾向
- ▶ 離職・評判・生産性への影響

（２）セクハラの本質を理解する

- ▶ 判断が難しい理由（関係性・場面・心理）
- ▶ 「意図がなければ OK」が通用しない理由
- ▶ 自己チェックで気づく“無意識の行動”

（３）職場におけるセクハラの基本知識

- ▶ 対価型・環境型の違い
- ▶ 職場・労働者に含まれる範囲
- ▶ 性的な言動とは何か

（４）相談を受けた時の適切な対応ステップ

- ▶ 傾聴と否定しない姿勢
- ▶ 事実の記録（5W1H のメモ）
- ▶ 社内相談窓口・外部窓口へのつなぎ方
- ▶ セカンドハラスメントを防ぐ話し方

（５）行為者に伝える際の注意点

- ▶ 不快感の伝え方
- ▶ 対応を誤らせる NG 対応
- ▶ 再発防止の基本視点

（６）グループワーク：事例を使った検討

- ▶ 実際の 2 つのケースを題材に対応策を検討
- ▶ 声かけ・記録・伝え方をチームで整理
- ▶ 発表とフィードバック

（７）まとめ

所要時間：120 分～180 分程度（ご要望時間にあわせカスタマイズ可能）

参加特典：当日のセミナー資料（PDF 版）を希望者に進呈